



日産合成工業株式会社 メールマガジン

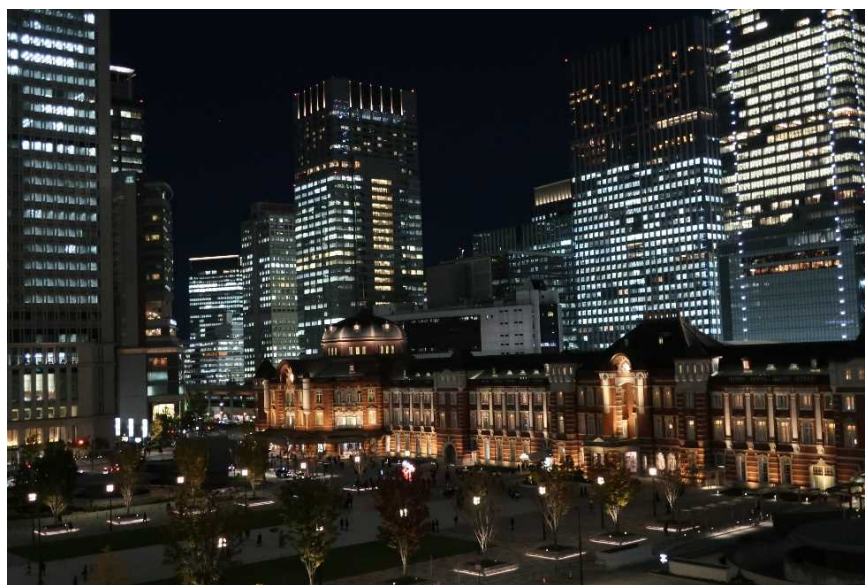
2019・12 第155号



師走の声を聞きますと、もう一年が過ぎようとしているのだとの思いがこみ上げてきます。若かりし頃はお正月が来るのが待ち遠しかったものですが、「大晦日 定めなき世の さだめかな（井原西鶴）」と詠われるごとく、平成から令和への幕開けも迎え、時計の針は容赦なく進んでいきます。

年の瀬と言えばクリスマスのイルミネーション、あちこちの街角で光が点滅します。会社からの帰り道に、丸の内仲通りに立ち寄ってみました。

しかし、丸の内界隈は林立する超高層ビルの方が輝いており、肝心のイルミネーションは影が薄い有様でした。丸ビルの4階にあるテラスから眺めた東京駅と、数多くの超高層ビルの眺めには圧倒されました。これが日本の繁栄の礎なのかとも思いますが、老婆心ながら、ここで仕事をするのも楽ではなかつと案じてしまいました。この近辺には潇洒な



お店が軒を並べており、ウィンドーショッピングするには最適ですが、懐具合が許しそうにもありません。それでも手ごろな鉢植え専門店を見つけましたので、そこには寄り道ができそうです。

江戸時代、丸の内界隈には多くの大名屋敷が存在しており、今でも大名小路なる通りが存在します。明治維新後には西洋風の街並みが形作られていった所でもあります。東京駅の丸の内駅舎は辰野金吾が設計しましたが、岩手銀行本店や深谷駅などにも、その面影を垣間見ることができます。2012年にこの駅舎は復元改修工事が完工して、威風堂々たる姿を現しています。駅舎の赤レンガは創建当時については深谷産だったそうですが、今回は愛知県常滑産だそうです。レンガの風合いを出すために1.5万枚もの試作品を作り、ようやく納得できるものが出来たとか。レンガのざらつき感や明るい赤色の再現など、大きな努力の成果が実を結び、色合いが微妙に違う3種類のレンガタイルを50万枚納入したそうです。また、行幸通りに続く丸の内駅前広場には、白い貴婦人といわれる茨城県笠間市産の稲田石が敷き詰められています。稲田石が使われた遊歩道は幅20m、長さが約85mあり、厚さ8cm、重さ120kgの石畳が3千枚以上敷き詰められているとかです。しかし目を転じてみれば、レンガにしても稲田石にしても、ニーズの減少のみならず、担い手の減少と外国産との価格競争などが相まって、安泰というわけにはいかないようです。これらの産業を継続していくためにも需要のあることが一番だとも思えます。ビッグデータ、情報処理などの分野が活躍するのは良いとしても、ヒトの手による物づくりが衰退する一方では未来はどうなるのかとの思いを抱きながら、今年も暮れようとしています。

さて、ニッサンメールマガジン第155号をお届けします。

プロバイオテックの給与は子牛の健康に役立つ

幼若期において消化器系を活性化するプロバイオテックの給与は、疾病発生を予防して、抗菌剤の使用を低減させ、離乳前の子牛の健康維持に役立つとコーネル大学の研究者が述べています。彼らは腸管バクテリアである *Faecalibacterium preausnitzii* (F.pre.) を幼若牛に経口投与した結果を示しています。離乳前に下痢や肺炎を発症していない子牛消化管の細菌叢の多様性を 10 年間にわたってサーベアーして、この細菌を選びました。F.pre. は胃腸消化管に豊富に存在する酪酸生産菌株で、下痢の低減や子牛の増体量を増加させる効果があります。また、この細菌はヒト幼児の下痢の発症を抑える効果も認められています。

この細菌の安全性を検証するために 30 頭の雄子牛を用いて、経直腸と経口的な投与量の検討を行いました。その結果、両者の投与量の違いによる差は認められませんでした。経口投与の方が効果的でした。554 頭を用いて、臨床的な検討を行った結果、以下のような結果が得られました。

1. 無投与群と比較して投与群における有意な下痢の発生の抑制 (6.8% vs 3.1%) 。
2. 重篤な下痢発生の抑制による死亡率の低減 (投与群 1.5% vs 無投与群 4.4%)
3. 無投与群に比べて、投与群では生後から離乳時までの増体量が 4.4 kg 多くなりました。

以上の結果からこの細菌の経口投与によるプロバイオテックの効果があることが証明されました。

泌乳前期におけるビタミン A の果たす役割

乳牛における乳房炎や子宮疾患に関するビタミン A の果たす役割について、再検討されても良いのではと考えられています。ミシガン大学のストライクランド准教授は米国牛病学会において、ビタミン A は造血、内膜の機能性や胚発生に関与していることはよく知られていますが、免疫機構に及ぼす役割についてはほとんど知られていないと報告しています。分娩時の血清中のビタミン A 濃度は疾病発生率に大きく関与しています。すなわち、泌乳開始時のビタミン A 不足は乳熱、乳房炎、子宮内膜炎や胎盤停滞の発症を引き起こすトリガーとなっています。ビタミン A は NEFA や β -1-ヒドロキシブチレートと有意な負の相関関係にあり、2 産次に血中濃度は最も高く、産次が進むにつれて漸減します。NRC 飼養標準に準じてビタミン A を給与しても、泌乳前期においては約半数の牛がビタミン A 不足に陥っているとかです。

オーストラリアで保存されていた過去の牛の凍結精液を販売

オーストラリア連邦科学産業機構 (CISRO) は 1980 年代と 1990 年代に収集された牛凍結精液について、科学 (産業) 的な意義が薄れたとしてオークションにかけるとを決定しました。CISRO は牛希少品種のコレクターや現在ではもはや使い道がない古い品種の復元したい機関などにとっては、絶好のチャンスになるだろうと述べています。オーストラリアでは 1950 年代に肉用牛の育種改良が始まりましたが、現在ではゲノム育種の時代になっているので、多くの精液を保存する意義は少なくなったからとも述べています。2009 年以降の牛ゲノム解析の進展により、従来の育種検定法はもはや必要性が薄れてきており、今後はゲノム育種に専念するそうです。今回、オークションにかけられる品種は、ベルモントレッド、ブラーマン、レッドアングス、アフリカーナ、シンブラッシュ、シャロレーなどだそうです。果たして買い手がいるかどうかは気になるところですが、売り上げは地域振興にあてられるそうです。(Feedstuffs ニュースより引用)

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用にPDFファイルを添付しました。PDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QR コード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるようにQRコードを添付しました。

